

# 平成27年度障害者支援施設光陽荘事業報告

## 第1 概況

光陽荘は、社会福祉法の福祉サービスの基本的理念にいう個人の尊厳の保持を旨として、利用者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、利用者のニーズも踏まえた良質かつ適切なサービスの提供に努めている。

このため、利用者一人ひとりの個別支援計画を作成し、これの実践に努めた。

また、利用者が「やりたい活動」を選択できるよう、多様なサービスメニューを用意するとともに全体的な活動とは別に実施している個別の支援等において、一人ひとりのニーズにきめ細かく応えることができた。

利用者の状況は、障害の重度化と高齢化により身体機能が低下傾向にある者と、健康で活動的な者に2分化している。前者に対しては、嘱託医等の指示を受けながら、看護と介護部門が連携協力し、適切な日常支援に繋げることができた。後者の中で、意思決定のできる者に対しては、活動参加や自己実現を主体に支援を行い、自閉や行動障害のある者に対しては、障害特性を正確に理解し、適切な環境要因を作り上げることに努めたところであるが、現在、さらに、職員の専門性を高めることや支援の統一などに取り組んでいるところである。

通院の増加、車椅子使用者や三大介護の増加などにより、職員への負荷が大きくなっているため、利用者への支援方法や負荷の軽減が今後検討すべき課題である。

このような中、27年度には症状急変による2名の退所があったため、県内から2名の盲重複障害者が新たに入所した。

開設25周年を迎えた7月には、施設内でお祝いの行事を実施した。

## 第2 全体の状況

### 1 利用状況

施設入所者数は、年度途中の入退所に伴う空床期間を除き、光陽荘50人、グループホームたんぼぼ5人の定員を満たしている。事業ごとの利用率をみると、施設入所事業が97.7%、日中の生活介護事業が111.2%、短期入所事業が37.2%、たんぼぼの共同生活援助事業（グループホーム）が100%であった。施設入所と生活介護の利用率の若干の低下は、入院日数の増と退所から新規入所までの空床日数によるものである。

年度	施設入所		生活介護		短期入所		グループホーム	
	定員	利用率	定員	利用率	定員	利用率	定員	利用率
H26年度	50	98.1%	50	113.5%	4	62.7%	5	99.6%
H27年度	50	97.7%	50	111.2%	4	37.2%	5	100.0%

### 2 経営状況

拠点区分光陽荘（施設入所、生活介護、短期入所、特定相談支援事業及び共同生活介護、法人本部）の介護給付費等の障害福祉サービス等事業収入は352,628千円で、その他収入を

加えた収入合計は 355,931 千円となり、前年度を 3,117 千円上回った。利用率については、施設入所と短期入所とも若干下がっているが、施設入所に新設された視覚・聴覚言語障害者支援体制加算と処遇改善加算の増額による加算の適用もあり全体として増収となった。＜27 年度の数値はいずれも決算見込み。以下、同じ。＞

一方、支出合計は 297,511 千円と、前年度に比べ 8,512 千円の増となったが、主な原因としては 3 月分実績給及び非常勤職員報酬を旧年度の会計処理に変更したこと等が主な原因である。

### ＜光陽荘（拠点区分）＞

収入

(千円)

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	増 減
障害福祉サービス等事業収入	352,628	348,067	4,561
その他の収入	3,303	4,747	△1,444
計	355,931	352,814	3,117

支出

(千円)

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	増 減
人 件 費	209,731	198,936	10,795
事務費・事業費等	87,780	90,063	△2,283
計	297,511	288,999	8,512

### 3 職員の状況

生活介護サービス費における人員配置体制加算で最も高い区分である「1.7:1」及び加算要件の加配分を満たす職員配置基準の確保に努めた。

平成 27 年度末の職員数は 54 名で、そのうち介護職員は常勤 28 名と非常勤 12 名、看護職員等は常勤 1 名と非常勤 4 名である。

育児休業を明け復帰した職員については、職場復帰後でも働きやすい職場の環境作りに努め、仕事と子育ての両立を応援した。

(平成 28 年 3 月 31 日現在) (人)

区 分	事 務 室		介護職員	医務室	調理	計
職 名	施設長 事務長 介護部長	介護部主幹 生活相談員 事務室員	主任 副主任 一般	看護職員 歯科衛生士	管理栄養士	
正 規	3	3	28	1	1	36
非正規		2	12	4		18
計	3	5	40	5	1	54
26 年同期	3	4	42	6	1	56

#### 4 施設整備等の状況

施行等の時期	整備等の内容	費用等
H27.9~H28.2	居室引き戸修繕工事（14室分）	523,800円
H27.7	感染対策工事 ケアワーカー室（A）とケアルームの遮蔽工事	534,600円
H27.9	換気扇取替工事 16カ所	426,600円
H28.2	スプリンクラー修繕工事	518,400円
H28.3	高圧ケーブル他周辺機器更新工事	985,500円

#### 5 その他

##### （1）職員研修（資料 28・29）

研修への積極的参加を促し、研修結果を職員全体会議等の場において報告を求め、広く職員の資質の向上及び利用者支援・サービスの充実に資することができた。外部研修や研究大会についてもできる限り積極的に参加し、多くの職員が知識や技術を深めることができた。

##### （2）会議の開催

全職員に対する施設の基本方針及び重要案件の確認、周知並びに職員研修の場として、四半期ごとに職員全体会議を開催し、円滑な施設運営と支援能力の向上のために資することができた。また、日常的・短期的な課題、行事等に関する協議、及び適切な利用者サービスや効率的な施設運営等のために、月1回管理運営会議を開催した。なお、介護部においては、処遇方針の決定及び処遇方法等の意思統一のために主任副主任会議を月1回開催し、また、ケアの質の向上や支援方法の周知等のためにグループ毎にケアワーカー会議を月1回開催した。個々の利用者への支援内容については、サービス管理責任者が個別支援計画の作成等のためのケアプラン会議（支援会議）も定期的に開催した。

##### （3）災害対策（資料 25）

火災、地震等の災害に備え、毎月1回利用者の避難訓練を実施するとともに、夜間の災害発生に備え、職員の緊急呼び出し訓練を実施した。また、市が今年度福祉避難所のマニュアル作りを実施したため、積極的に意見を申し述べた。

##### （4）感染症予防対策

インフルエンザの集団発生を予防するため、利用者、職員ともほぼ全員に対し予防接種を実施するとともに、ノロウイルス等による感染症発生に対処するため、感染症対策委員会の強化や菊川市立総合病院の感染管理認定看護師を招き研修を実施した。

また、昨年に続き毎朝5分間全職員で手すり等の一斉消毒と、時期には利用者の食事前の手指の消毒をした。職員は意識を高く持ち、今年度利用者感染症を発症させることはなかった。

##### （5）各種行事（資料 24）

利用者に文化的な充足感を味わってもらうために、季節や風習を大切に各種行事を企画し、楽しく参加できるようにした。

##### （6）委員会（資料 26）

労働安全衛生法に基づく衛生委員会を毎月開催し、職員の健康管理及び災害防止等について協議・検討を行った。その他各種専門委員会を開催し、利用者の安全の確保、利便・快適性の向上、楽しい施設生活の実現のために役立てた。

### 第3 部門別活動状況

#### 1 事務部門

- ・顧問会計士及び社会保険労務士等との連携を密にし、コンプライアンス（法令遵守）とモラルの遵守を常に念頭に置き、また、法人内規則・規程の熟知を心掛け、正確かつ迅速な事務処理を行うよう努めた。
- ・新会計基準が適正かつ円滑に実施できるよう、法人会計実務の知識の習得に努めるとともに、法人事務担当者会議に出席し、施設間の連絡・連携を図り情報の共有に心掛けた。
- ・管理運営会議を月1回開催し、日常的・短期的な課題、行事等への対応について協議し、適切な利用者サービス及び効率的な施設運営等に役立てた。
- ・予算の有効活用が図られるよう、職種部門間の連携に努めた。
- ・障害者総合支援法請求事務や利用者負担金請求事務に関し、請求誤り、漏れが無いよう法改正や請求ソフト使用方法等の変更の的確に対応できるよう努めた。
- ・積極的にOA機器を活用し、事務の効率化に努めた。
- ・日用品、消耗品等の計画的な購入・管理に努め、コストの低減に心掛けた。
- ・施設設備、器具、備品の保守管理を徹底し、施設機能の維持に努めた。

#### 2 相談部門

- ・相談援助や他部署との協働、個別支援計画の作成、預り金関係の適正な管理事務、他機関との連携、家族への連絡等、入所利用者の生活の質の向上に係る業務を主として実施した。
- ・サービス管理責任者を中心に、個別支援計画に基づいたサービスの実現や評価等に努めた。
- ・個別支援計画の確実な実現に向けて介護職員を支援・指導した。
- ・利用者に必要な情報を適切な方法・わかりやすい表現を用いて提供し、利用者の意思を確認した。施設利用に際しては、利用者及び家族への十分な説明と情報の提供に努めた。
- ・サービス利用に伴う各種手続き等事務代行を的確に実施した。
- ・地域の貴重な社会資源として地域のニーズに的確に応えるため、施設機能の充実及び職員の資質の向上に努めた。
- ・他施設、関係機関、関係団体等との情報の交換及び連携に努めた。
- ・利用者預り金等の適正な管理に努めた。
- ・利用者の自己決定を尊重し、利用者がその権利を十分に理解・活用していただけるように援助するとともに、意思決定能力の不十分な利用者に対して、常に最善の方法を用いて利益と権利を擁護した。
- ・利用者のプライバシーを最大限に尊重し、利用者や関係者からの情報の徴取は、業務上必要な範囲にとどめ、その秘密を保持した。
- ・利用者の援助のために利用者に関する情報を関係機関・関係職員と共有する場合、その秘密を

保持するよう最善の方策を用いた。

- ・常に業務を点検、評価を行い、業務の改善に努めた。

### 3 介護部門

#### (1) 支援体制全般

各部署との連携、協力の下、利用者個人々々に対しきめ細かな支援ができた。また、クラブ活動、リラクゼーション等の余暇、生きがい活動に関わる支援は、日中活動担当を中心に、グループ横断的に展開した。就労的要素のある作業創作活動では、個々の作業能力が十分活用できるよう工夫した。作業、創作活動に馴染みにくい利用者については、日常生活に楽しみや張り合いを感じてもらえるよう、ぽかぽか農園（果樹園、散歩道、畑）の活用に加え、ミュージックケアを実施し、心身に快い刺激を与え情緒の安定を図ることができた。

また、利用者の生活や人間関係が施設の中に留まらないよう、積極的に地域に出掛け、あるいは地域の方を招いて、多くの人とコミュニケーションが図れる機会を提供することにより地域交流の拡がりや光陽荘利用者に対する地域住民の理解を深めることができた。

ご家族には利用者の施設での生活状況をいつでもご覧いただくとともに、必要に応じて個々の利用者の様子を連絡するなど良好な関係の維持に努めた。

記録管理システムの活用により、業務の効率化、各部署での情報の共有、データの管理、集計などを行った。

#### (2) 職員の合意形成

利用者一人ひとりからニーズの聞き取りを行い、ケアプランを作成するとともに、利用者懇談会等を通して、利用者の要望、意見を把握した。これらをケアワーカー会議、主任副主任会議、ケアプラン会議において話し合い合意形成を図り、利用者への支援の充実に繋げた。

#### (3) 苦情解決（資料 11）

苦情受付窓口を設置し、利用者からの苦情に真摯に対応するとともに、苦情解決第三者委員に対する報告の場を設け助言を受けた。

#### (4) 事故防止等（資料 18）

施設内の事故防止のため安全な動線の確保、適切な職員配置及びリスクマネジメントの徹底に努めた。身体拘束についてはご家族の同意を得たうえで緊急やむを得ない場合に限り行うこととし、極めて慎重に取り扱うことを徹底した。虐待については障害者虐待防止法の理解と遵守を図り、虐待防止委員会において虐待に対する自己評価や意識調査を行った。

#### (5) 職員研修（資料 28）

利用者の障害特性を理解し、より適切な支援を行うために、職員の各種研修会への参加並びに施設内研修等を積極的に推進した。施設内研修では視覚障害のある利用者の方に寄り添いの支援が提供できるようアイマスク体験を行い見えないことの不自由さや必要な支援を再確認した。また、新人職員にはチューター制による相談相手のいる環境を作り、知識や技術を習得させ専門性を高めた。

#### (6) 平日の活動（資料 22）

平日は作業創作活動・リラクゼーション・クラブ活動など定番の活動を自己選択（意思表示のできない利用者へは職員が気持ちをくみ取り選択）し参加していただくとともに週末はフリータイムでのんびり自由に過ごす生活スタイルを基本とした。同時に、月単位、年単位

でバラエティーに富んだ楽しみを用意することで、選択肢を広げ施設の中で画一的に暮らすことがないように工夫できた。

#### (7) 希望外出（資料 23）

利用者一人平均月2回ほどのお出かけバスの外出とは別に、個別に希望された少し特別な外出により、非日常的な楽しい体験ができるようにその機会を提供した。利用者個々に年に2回は希望が叶えられるよう計画実施し喜ばれた。

#### (8) イベント・交流等（資料 16・17・24）

納涼祭や収穫祭など、地域の方を多く招き交流を深めた。音楽クラブや和太鼓クラブは施設外での出演依頼も増え多くのイベントに参加することができた。利用者の社会参加や地域での認知度を高めることができている。

#### (9) 作業・創作活動

作業創作活動（平日の午前中）は、利用者の障害特性をふまえて、「働くこと」や「施設外交流」を意識し支援に努めた。出来上がった品物は利用者自らも販売に携わり、自分の作った小物や農作物が売れる喜びを感じ、工賃を受けることが張り合いや励みに繋がっている。

#### (10) リラクゼーション

作業創作活動に参加が難しい利用者は、平日の午前中、「ぼかぼか農園」に出掛け、草花や土風に触れながら散歩を楽しみ、体力増進や気分転換が図れた。農園で採れたブルーベリーなどその場でもぎ取って味わうなど季節感あふれる体験の機会が提供できた。なお、雨天時は、音楽や荘内散歩など天候にかかわらず楽しみな活動を展開している。

#### (11) その他基本的な生活支援

食事・入浴・排泄・整容等の基本的な生活並びに居住空間の掃除・整理整頓を常に心掛け、清潔で快適な生活が提供できる支援を行った。

常に利用者の「人権」を尊重し、利用者が主体的に生きていけるよう、創意工夫をもって支援・介護を行った。

### 4 医務部門（資料 12・13）

- ・利用者、職員の健康保持及び衛生管理に努めた。
- ・利用者、職員の健康管理のため、年2回の健康診断を実施し、再検査の必要な職員に対しては受診勧奨を行った。
- ・利用者の身体状況の変化や医療上の変化を的確に捉え、嘱託医、協力医療機関の協力を得て、疾病の予防と早期対応を図った。
- ・利用者の体重の増減を常に把握し、必要に応じてメタボリック防止体操などの実施に努めた。
- ・利用者が入院したときは、病院医療又は家族との緊密な連携の下に、利用者の支援に努めた。
- ・利用者の健康状況を常に掌握し、適切な支援を行うとともに、家族に対し医療情報の積極的な提供に努めた。
- ・インフルエンザワクチン等予防接種の実施並びにその他の感染症の早期発見、早期治療に努め、感染症対策を徹底した。
- ・投薬の管理等に細心の注意をもって当たった。
- ・利用者の便秘による苦痛の軽減を図るため、自然排便の習慣付けを促進し、運動、水分摂取、下剤の調節等について助言、支援を行った。

- ・ 嘱託内科医・精神科医指示の下、適時適切な受診を行った。
- ・ 地域の病院施設連絡会に参加し、利用者に対するよりよいサービスの提供のための情報の収集に努めた。
- ・ 口腔衛生の保持のため歯科衛生士による口腔ケアを実施するとともに、年に一度歯科検診を実施し、健康な歯の保持に努めた。

## 5 調理部門（資料 24（3））

- ・ 食を通して季節感を味わうことの出来るメニューの作成及び適温給食の提供に努めた。また、リクエスト食を取り入れ、利用者一人ひとりが自分の選択により食事を楽しむ機会を増やした。
- ・ 委託業者との合同による給食会議を開催し、介護現場の意見、利用者の希望が反映できる充実した食事サービスの提供に努めた。
- ・ 美味しく食事提供ができるよう食堂内の雰囲気づくりを行った。
- ・ 嗜好調査を実施し、嗜好に沿った食事サービスの提供に努めた。
- ・ 医務室との連携の下、利用者の健康診断結果を踏まえて食事内容を調整した。
- ・ 常に衛生管理に配慮し、食中毒の未然防止を図った。
- ・ 栄養ケアマネジメントを行い、個々の栄養状態・身体状況に合わせたプランを作成し、健康状態の維持・向上に努めた。

## 第4 短期入所事業

利用者への支援はもちろん、介護者であるご家族の介護量の負担軽減にも役立て、在宅生活が続けられるよう、短期入所のニーズに適切に応えた。他事業所と併用して利用される方も多いため、常に情報の交換を行うなど連携を図りながら、スムーズな受け入れやよりよいサービス提供に努めた。

利用率については、継続利用者の利用終了もあり、この10年間で最も低い利用率となった。

〔日中一時支援事業：障害者総合支援法に係る菊川市・掛川市委託事業〕

障害児（者）の日中の生活を一時的に確保する場とし、市町から委託を受け地域生活支援を行う。

平成27年度における通所希望者については、同じサービス内容の生活介護を利用してもらうことでニーズに応えられている。生活介護の要件に該当しないケースの場合は、日中一時支援の利用を考える。

## 第5 共同生活援助事業「グループホームたんぽぽ」

グループホームにおいては職員のサポートを受けながら家庭的な生活が送れるよう支援した。自分の空間（個室）ではプライバシーに配慮された自由な時間が確保され、共有スペースにおいては団欒の時間を楽しむことができるよう配慮した。

日中活動では、平日は光陽荘の「生活介護」を利用し、光陽荘入所者と同様の活動を楽しみ、週末や帰宅後は「たんぽぽ」独自の外出やイベントを企画・実施するなど、幅広い活動参加や

潤いのある生活を送ることができた。なかでも、季節を感じられるジャム作りや梅干し作りなどは利用者からも好評であり、楽しみにされている。また、近場ではあったが日帰り旅行も実施した。

利用者一人ひとりの支援については、サービス管理責任者（光陽荘兼務）を配置し、個別支援計画に基づいたサービスの実現や評価等を行った。

## <各種活動支援>

### （１）日中活動

バックアップ施設である光陽荘生活介護サービスの、作業創作活動、及びクラブ活動、各種行事等に利用者個々人の希望に合わせ参加した。

季節行事・イベントは光陽荘の行事にも参加した。

### （２）食事

利用者が世話人等の支援を得て、計画・調達・調理した。また、必要に応じて光陽荘調理室が支援した。

### （３）健康管理

定期健康診断を光陽荘利用者に合わせて年２回実施した。必要な受診についても付き添い等の支援を行った。なお、歯科検診及び歯科衛生士による口腔ケアについても、光陽荘利用者と同様に行なった。

### （４）余暇活動

日々の生活において生きがいをもって豊かに過ごせるよう、余暇の過ごし方を利用者が中心となってつくりあげた。世話人等はこれを積極的に支援した。

また、外出を積極的に行い地域の催しに参加するなど、地域住民との接触に努め、地域居住者としての意識を持てるよう支援した。

### （５）災害、防災

ホームスプリンクラー及び自動火災報知設備、インターホーン、非常呼び出しセンサー等の設備に加えて、夜間支援従事者を配置することにより、災害・防災体制の万全を図った。加えて、常に光陽荘との連携を図った。また、地元自治会が実施する地域防災訓練にも参加した。

### （６）苦情相談・解決

光陽荘と共通の苦情相談窓口・体制において真摯に対応するとともに、苦情解決第三者委員に対する報告の場を設け助言を受けた。

### （７）金銭管理

利用者等から預託された金銭及び各種書類の扱い及び利用者及び家族等への報告等については、光陽荘と同様の取り扱いをした。

### （８）夜間支援体制

夜間から早朝にかけて、夜間支援従事者１名を配置した。また、世話人等と協力し夕食・朝食の調理・介助、入浴・排泄の介助、洗濯、居室・衣類等の整理整頓など各種の支援を行なった。

## 第6 特定相談支援事業「光陽荘障害者相談センターすてっぷ」

障害福祉サービスを希望する障害者の要請に応じて、サービス等利用計画案の作成を行った。入所利用者に加え、行政等より依頼を受けた地域で暮らす障害者のサービス等利用計画案の作成も行い、地域における相談支援のニーズにもできる限り応えた。

また、近隣の相談支援事業所及び行政の集まりである東遠地区自立支援協議会相談部会に出席し、他の事業所と情報交換をするなど地域の実情や課題についての把握や連携に努めた。

### サービス等利用計画案の作成実績

種 別	平成27年度	平成26年度
サービス等利用計画案	33件	13件
モニタリング報告書(サービス利用計画の見直し)	35件	48件

# 資料編

(平成27年度/平成28年3月31日現在)

## 光 陽 荘

- 1 障害支援区分別利用(入所)者数
- 2 年齢別利用(入所)者数
- 3 利用(入所)者平均年齢
- 4 在所期間別利用(入所)数
- 5 食事介助状況者数
- 6 入浴介助状況者数
- 7 排泄介助状況者数
- 8 面会状況
- 9 帰省(外泊)状況
- 10 入所・退所状況
- 11 苦情受付状況
- 12 他医療機関への受診状況(延人数)
- 13 利用者医療状況
- 14 所在状況
- 15 入所申込み(待機者)状況
- 16 ボランティア(余暇支援)状況
- 17 ボランティア(奉仕)状況
- 18 事故調査状況
- 19 実習状況
- 20 短期入所利用状況 生活介護利用状況
- 21 施設入所利用状況 グループホーム利用状況
- 22 全体的支援の状況
- 23 個別的支援の状況
- 24 行事の状況
- 25 避難防災訓練の状況
- 26 各種専門委員会の状況
- 27 家族会との連携状況
- 28 職員研修状況
- 29 職員被表彰者の状況
- 30 協力医療機関・通院機関の状況

# I. 利用実績

## 1 障害支援区分別利用(入所)者数

光陽荘

(平成28年3月31日現在)

	区分1・2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	0	0	0	1	22	23
女性	0	0	0	2	25	27
合計	0	0	0	3	47	50
割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	94.0%	100.0%
平均障害支援区分	5.94 (男性 5.95 女性 5.93 )					
平成26年度	5.94 (男性 6.00 女性 5.89 )					

たんぽぽ

(平成28年3月31日現在)

	区分1・2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	0	0	0	0	1	1
女性	0	0	0	2	2	4
合計	0	0	0	2	3	5
割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	100.0%
平均障害支援区分	5.60 (男性 6.00 女性 5.50 )					
平成26年度	5.40 (男性 6.00 女性 5.25 )					

## 2 年齢別利用(入所)者数

光陽荘

(平成28年3月31日現在)

	20歳以下	21歳～30歳	31歳～40歳	41歳～50歳	51歳～60歳	61歳～64歳	65歳～69歳	70歳以上	80歳以上	合計
男性	0	2	1	10	4	2	2	1		22
女性	0	0	1	11	7	3	3	2	1	28
合計	0	2	2	21	11	5	5	3	1	50

(平成27年3月31日現在)

	合計
男性	22
女性	28
合計	50

たんぽぽ

(平成28年3月31日現在)

	20歳以下	21歳～30歳	31歳～40歳	41歳～50歳	51歳～60歳	61歳～64歳	65歳～69歳	70歳以上	80歳以上	合計
男性	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
女性	0	0	0	2	1	0	0	1	0	4
合計	0	0	0	3	1	0	0	1	0	5

(平成27年3月31日現在)

	合計
男性	1
女性	4
合計	5

## 3 利用(入所)者平均年齢

光陽荘

(平成28年3月31日現在)

	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男性	50.2	24	79
女性	55.1	38	84
合計	52.9		

(平成27年3月31日現在)

	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男性	49.2	23	78
女性	55.9	41	83
合計	52.9		

たんぽぽ

(平成28年3月31日現在)

	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男性(1人)	48.0		48
女性(4人)	56.3	48	71
合計	54.6		

(平成26年3月31日現在)

	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男性	47.0		47
女性	55.3	47	70
合計	53.6		

## 4 在所期間別利用(入所)数

光陽荘

(平成28年3月31日現在)

	1年未満	1年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年以上	合計	平均在所期間
男性	0	1	5	5	0	11	22	
女性	2	2	2	4	4	14	28	
合計	2	3	7	9	4	25	50	17年4か月

	1年 未満	1年～ 3年未満	3年～ 5年未満	5年～ 7年未満	7年～ 9年未満	9年 以上	合計	平均在所期間
男性	0	0	0	0	0	1	1	
女性	0	0	1	0	0	3	4	
合計	0	0	1	0	0	4	5	10年4か月

## 5 食事介助状況者数

(平成28年3月31日現在)

区分	人数	割合
全面介助者	4	8.0%
一部介助者	42	84.0%
介助なし	4	8.0%

(平成27年3月31日現在)

区分	人数	割合
全面介助者	7	14.0%
一部介助者	40	80.0%
介助なし	3	6.0%

## 6 入浴介助状況者数

(平成28年3月31日現在)

区分	人数	割合
特別浴	2	4.0%
個浴	11	22.0%

(平成27年3月31日現在)

区分	人数	割合
特別浴	2	4.0%
個浴	11	22.0%

## 7 排泄介助状況者数

(平成28年3月31日現在)

区分	人数	割合
おむつ使用者	5	10.0%
紙パンツ又はトイレ介助者、 ポータブルトイレ使用者	40	80.0%
見守り	5	10.0%

(平成27年3月31日現在)

区分	人数	割合
おむつ使用者	5	10.0%
紙パンツ又はトイレ介助者 ポータブルトイレ使用者	41	82.0%
見守り	4	8.0%

## 8 面会状況

(平成27年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	52	46	61	20	76	36	22	30	41	21	32	26	463人
1日平均人数	1.7	1.5	2.0	0.6	2.5	1.2	0.7	1.0	1.3	0.7	1.1	0.8	1.3人

## 9 帰省(外泊)状況

(平成27年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	3	4	3	3	9	1	3	2	12	12	1	4	57人
日数	5	10	2	6	42	2	2	1	34	34	1	4	143日

## 10 入所・退所状況

(平成27年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成26年度
入居者数	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2人	0
退去者数	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2人	0
月末在籍者数	50	50	50	49	48	49	50	50	50	50	50	50	596人	600

## 11 苦情受付状況

### 1) 苦情受付件数

(平成27年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成26年度
苦情受付件数	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	2	5件	4件

## 2) 苦情の分類一覧 (平成27年度)

苦情の分類	件数
ケアの内容に関わる事項	1
個人の嗜好・選択に関わる事項	1
他の利用者・職員に関わる事項	0
面会者に関わる事項	0
財産管理等に関わる事項	0
施設内規に関する事項	0
その他	3
合計	5件

※全て利用者より受付

(平成26年度)

苦情の分類	件数
ケアの内容に関わる事項	0
個人の嗜好・選択に関わる事項	0
他の利用者・職員に関わる事項	2
面会者に関わる事項	0
財産管理等に関わる事項	0
施設内規に関する事項	0
その他	1
合計	3件

## 12 他医療機関への受診状況(延人数)

(平成27年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	1	2	2		2	1	2	4	2	2	7	2	27人
精神科	1	1										1	3人
脳外科					2					2	3	2	9人
整形外科	2		1		1	2	2	2	2	3	7	4	26人
外科					2						1	1	4人
泌尿器科	3	2	2	2	2	3	2	2	4	2	2	3	29人
眼科	1	3	3	1	3	4	1	2	4	1	2	5	30人
皮膚科		1	2	3	2					2	1		11人
耳鼻科	2	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	12人
歯科	1	2	2	2	2		2	1		1		7	20人
婦人科		2						1				1	4人
循環器科													0人
合計	11人	14人	13人	9人	16人	11人	10人	13人	13人	14人	24人	27人	175人

## 嘱託医による受診(往診)状況(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	31	31	30	27	23	21	22	62	25	23	24	26	345人
精神科	27	27	27	26	25	28	58	29	29	29	29	30	364人
合計	58人	58人	57人	53人	48人	49人	80人	91人	54人	52人	53人	56人	709人

## 13 入所者・利用者医療状況

## 1) 入院状況

(平成27年度)

治療科	人数	治療科	人数	平成26年度
内科	5	泌尿器科		5
精神科	1	整形外科	1	1
眼科		口腔外科		
脳外科				

## 2) 処置状況

(平成28年3月31日現在)

処置状況	人数	処置状況	人数
経口与薬	44	経管栄養	0
(タミフル与薬)	0	酸素吸入	0
創傷処置	随時	浣腸、摘便	0
軟膏塗布	随時	湿布等(痛み緩和剤)	3
点眼	5		

## 14 所在状況

(平成28年3月31日現在)

市町名	在籍者数	入所・退所状況		平成27年3月31日現在			市町名	在籍者数	入所・退所状況		平成27年3月31日現在		
		入居	退去	在籍者数	入所	退所			入居	退去	在籍者数	入所	退所
下田市	1			1			焼津市	3			3		

南伊豆町	1		1	藤枝市	4		4
松崎町	1		1	牧之原市	2		2
東伊豆町	1	1	0	吉田町	1		1
伊東市	1		1	川根本町	1		1
沼津市	2		2	浜松市	5		5
三島市	1		1	磐田市	3	1	2
伊豆市	1		1	掛川市	1	1	2
伊豆の国市	1		1	湖西市	1		1
清水町	0		0	森町	1		1
御殿場市	1		1	神奈川県横須賀市	1		1
富士宮市	1		1	東京都足立区	1		1
富士市	2		2	岐阜県大野町	1		1
静岡市	6	1	7	御前崎市	1		1
島田市	4		4	合計	50人	1人	1人
							50人
							1人
							1人

## 15 入所申込み(待機者)状況

(平成28年3月31日現在)

市区町名	申込者数	平成27年3月31日現在	市区町名	申込者数	平成27年3月31日現在
菊川市	1	1	静岡市清水区	1	1
御前崎市	2	2	東伊豆町	0	1
磐田市	1	2			
浜松市中区	2	1	愛知県岡崎市	1	1
浜松市南区	1	0	神奈川県横須賀市	1	1
浜松市浜北区	1	1			
浜松市天竜区	1	1	合計	12人	12人

## 16 ボランティア(余暇支援)状況

(平成27年度)

月 日	団体名(代表者名)および個人名	人数	内 容
9月18日	もみじの会	20名程度	詩吟・歌披露
10月31日	クエッションバンド	10名	秋の収穫祭にてバンド演奏披露

## 17 ボランティア(奉仕)状況

(平成27年度)

団体名(代表者名)および個人名	内容	年間延日数	実人数	活動日
家族会	施設整備(農園の草取り)	1	29	5月23日
市民	散歩付き添い	5	1	随時
市民	創作活動手伝い(12月より新規)	19	1	定期(週1回)
市民	ハーモニカ等演奏	1	1	随時
市民	縫い物(10月より2名)	9	2	随時
常葉学園菊川高校 美術デザイン科	ガラス絵描写	1	7	7月18日
小学生 (ボランティア体験)	創作活動・リラクゼーション(散歩等)	10	7	夏休み
市民・職員家族・元職員・学生	納涼祭模擬店	1	13	8月8日
小学生・中学生 (ボランティア体験)	創作活動・リラクゼーション(散歩等)	0	0	冬休み
家族	焼き芋作り	1	4	11月25日
家族	施設・農園の草取り等	92	6	随時
	合計	140人	71人	

## その他協力者(ボランティア・販売)

団体名(代表者名)および個人名	内容	年間延回数	実人数	活動日
岡田先生	音楽指導・ピアノライブ	46	1	月曜日・イベント時
駄菓子やっこ	駄菓子の販売	17	2	第1・第2水曜日
中村美容室	散髪	22	2	第2・第4月曜日
友の輪商事	車椅子点検・販売	12	1	第2月曜日
草笛	パン販売	12	1	第1月曜日
点訳サークル泉	点字指導・交流	10	10	第4月曜日
合計		119人	17人	

## その他協力者(寄付者)

寄付者	寄付金品名	寄付日
明るい社会づくり運動菊川協議会	タオル300枚	11月25日
フコク生命浜松支社 外野倶楽部	タオル81枚	2月9日
利用者家族	金100,000円	8月21日
利用者家族	世界名作昔ばなしDVD	10月19日
その他の寄付金品		点字本・点字カレンダー他

## 18 事故調査状況

(平成27年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
怪我	転倒	2	2	2	2	6	4	2	2	1	4	3	2	32
	転落・滑落				1	1		1						3
	摩擦						1							1
	衝突				1	1			1	1		1		5
食物	誤嚥													0
	異食・誤飲	1	1	2										4
	経管栄養													0
薬	誤薬	1	1						1					3
	投薬忘れ	1		2	2		2			1	1		2	11
	内服薬													0
	配薬								1					1
ケア	爪切り		1											1
	ケア提供													0
	ショート忘れ物	1		1					1		2	1	1	7
物損	私物紛失			1						1				2
	物損	2	1	1			2	1				1		8
	利用者同士のトラブル		3	3		1	2	2	2	2	1		1	17
														0
	その他	2	2	3	2	2	6	2	3	2	4	2	6	36
合計		10	11	15	8	11	17	8	11	8	12	8	12	131

## 19 実習状況

(平成27年度)

学校名等	実習名	年間延日数	実人数	平成26年度	
静岡福祉大学	介護福祉実習	40	2	140	8
東海福祉専門学校	介護実習	0	0	30	3
静岡歯科衛生士専門学校	臨地実習(歯科衛生士養成課程)	0	0	6	2
浜松大学	臨地実習(管理栄養士養成課程)	5	1	5	1
合計		45日	3人	181日	14人

## 介護等体験

(平成27年度)

学校名等	実習名	年間延日数	実人数	平成26年度	
焼津高校	職場体験	2	1	0	0
岳洋中学	福祉体験	1	33	2	30
	合計	3日	34人	2日	30人

## 20 短期入所利用状況 生活介護利用状況

### 短期入所

(平成27年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成26年度
利用者人数	10	13	11	12	9	12	9	11	5	11	9	13	125人	125人
延べ利用日数	62	46	60	48	37	45	37	54	27	43	37	49	545日	915日
1日平均	2.1	1.5	2.0	1.5	1.2	1.5	1.2	1.8	0.9	1.4	1.3	1.6	1.5人	2.5人
利用率	51.7%	37.1%	50.0%	38.7%	29.8%	37.5%	29.8%	45.0%	21.8%	34.7%	31.9%	39.5%	37.2%	62.7%

### 生活介護

(平成27年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成26年度
利用者人数	64	65	64	65	64	66	63	66	62	67	62	68	776人	778人
延べ利用日数	1,255	1,268	1,220	1,251	1,208	1,220	1,295	1,257	1,279	1,286	1,168	1,306	15,013日	15,263日
1日平均	57.0	55.1	55.5	54.4	52.5	55.5	56.3	57.1	55.6	55.9	55.6	56.8	55.6人	56.7人
利用率	114.1%	110.3%	110.9%	108.8%	105.0%	110.9%	112.6%	114.3%	111.2%	111.8%	111.2%	113.6%	111.2%	114.3%

## 21 施設入所利用状況 グループホーム利用状況

### 施設入所

(平成27年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成26年度
利用者人数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600人	600人
延べ利用日数	1,488	1,509	1,448	1,482	1,432	1,467	1,548	1,499	1,516	1,505	1,437	1,546	17,877日	17,909日
1日平均	49.6	48.7	48.3	47.8	46.2	48.9	49.9	50.0	48.9	48.5	49.6	49.9	48.8人	49.1人
利用率	99.2%	97.4%	96.5%	95.6%	97.8%	97.8%	99.9%	99.9%	97.8%	97.1%	99.1%	97.0%	97.7%	98.1%

### グループホーム

(平成27年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成26年度
利用者人数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60人	60人
延べ利用日数	150	155	150	155	155	150	155	150	155	155	145	155	1,830日	1,817日
1日平均	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0人	5.0人
利用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.6%

## 2.2 全体的支援の状況

### (1) 作業創作活動（工賃を支払う活動）

活動名	内容	活動日	人数
作業・創作活動	洗濯たたみ・畑・エプロン畳み・ゴミ集め・おしぼり作り・作品作り	(月)～(金) 午前中	18人
コーヒー喫茶	コーヒー販売（喫茶店形式）	月1回	6人

### (2) クラブ活動及びその他の活動

クラブ名	内容	活動日	人数
音楽クラブ	パート、曲の練習・ 行事、コンサートへの参加	第1月曜日PM	12人 (主な演奏者7人)
和太鼓クラブ	基本打ちの練習・納涼祭参加・ コンサートへの参加	第1月曜日PM	9人
クッキングクラブ	おやつ・料理・飲み物作り他	第3月曜日PM	21名
スポレククラブ	練習・試合・ゲーム・運動器具活用	第2月曜日PM	全利用者
点字クラブ	点訳サークル泉との交流 点字・平仮名の練習	第4月曜日PM	12人
生花クラブ	花器選び・リース・ フラワーアレンジメント	第5月曜日PM	9人
リラクゼーション	ぽかぽか農園・散歩・音楽鑑賞・朗 読・野菜の収穫	(月)～(金) 午前中	37人
懇談会	行事予定の説明・連絡・話し合い	第4水曜日PM	自由参加 25名程度
買い物・ドライブ	買い物・ドライブ <行先> 菊川市内・掛川・牧之原・島田・御 前崎等	木曜日 午後	全利用者 約20人/回 1人平均 2回/月

## 2.3 個別的支援の状況

### (1) 一般外出等

内容	回数	人数
個別支援外出（買い物・外食・協力病院以外の通院等）	随時	希望者
散髪（理髪店での散髪希望者）	27便	52人/延

### (2) 希望外出

実施日	プラン名	行先	人数
4月23日	個別支援 買い物	中部いなば衣料品店 森町	
6月25日	個別支援 外食	さわやか菊川店	4名
7月22日	希望外出 香の博物館 自然を満喫日帰りツアー	香の博物館 万瀬ぼうらや 磐田市	10名
7月23日	個別支援 ラーメン	こだわりらーめん若虎	2名
7月30日	個別支援 回転寿司・カラオケ	かっぱ寿司	6名

8月10日	個別支援 帰省時送迎	菊川駅	1名
8月19日	個別支援 外食・トレーニングジム体験	さんりーな カレー専門店デリー	5名
8月22日	個別支援 帰省時送迎	菊川駅	1名
8月26日	個別支援 居酒屋	備長扇屋菊川店	1名
9月10日	個別支援 バイキング	おひさま食堂吉田店	3名
9月12日	個別支援 サーカスコンサート	アエル 五味八珍	1名
9月13日	個別支援 敬老会	河城小学校	2名
10月7日	希望外出 夜のお菓子うなぎパイは夢いっぱい	うなぎパイファクトリー 浜松市	13名
10月17日	個別支援 きろろコンサート	アエル	1名
10月22日	希望外出 から揚げが食べたい	ジョイフル	1名
10月28日	個別支援 ラーメンが食べたい	五味八珍	6名
10月28日	個別支援 気分転換に外食	レストランココス	4名
11月1日	個別支援 菊川文化祭	アエル・コンビニみつぼし	1名
11月4日	個別支援 ハンバーグが食べたい	さわやか	4名
11月12日	希望外出 みかん狩り	浜松フルーツパーク	13名
11月19日	個別支援 回転寿司	魚河岸寿司菊川店	4名
11月30日	個別支援 家具の購入	家具のニシムラ掛川店	1名
12月7日	個別支援 定食を食べたい	みはる 御前崎市	1名
12月21日	個別支援 バイキング	どんどこ浅羽	4名
1月14日	個別支援 いちご狩り	赤ずきんちゃん 浜岡町	4名
2月18日	個別支援 いちご狩り	ピーターパンハウス浜岡町	4名
3月11日	個別支援 買い物	シマムラ・コルリオーネ	4名
3月22日	個別支援 買い物	Mr. 文具・シマムラ 杏林堂	1名
3月24日	個別支援 買い物 お弁当を食べる	お弁当どんどん さくらんぼ	3名

### (3) 歯科検診・口腔ケア

4月	口腔ケア	39人	10月	口腔ケア	40人
5月	口腔ケア	39人	11月	口腔ケア	41人
6月	口腔ケア	39人	12月	口腔ケア	41人
7月	口腔ケア 歯科検診	39人 53人	1月	口腔ケア	41人
8月	口腔ケア	38人	2月	口腔ケア	41人
9月	口腔ケア	40人	3月	口腔ケア	41人

## 24 行事の状況

### (1) 光陽荘・たんぽぽ

4月	お花見(つま恋)・春の健康診断・家族会総会・リネン交換 たんぽぽ開設記念日祝11周年
5月	菖蒲湯・端午の節句・もちつき大会・家族会整備作業(奉仕活動) 農園でジャガイモを味わう(ぽかぽか農園内) 清松園開園際(バンドドロップス出演) 牧之原音楽マラソン(ドロップス&光コラボ出演)
6月	運動会
7月	光陽荘開設記念日祝25周年・七夕・歯科検診・潮海寺お祭り 踊り披露
8月	納涼祭・家族会役員会・ミニビアガーデン(施設内)
9月	総合防災訓練・秋祭り・もみじの会(歌・詩吟)・菊川町部地区文化展(和太鼓光 出演. 創作品販売. 見学)
10月	収穫祭(芋煮&ミニコンサート)・インフルエンザ予防接種 ふれあい広場(創作品出展販売・バンドドロップス出演)
11月	岳洋中学福祉体験(合唱等披露)・秋の健康診断・昼食バイキング 焼き芋大会・東遠まつり(和太鼓 光 出演/創作出店)
12月	障害者週間カレー作り・地域防災訓練 たんぽぽ参加(おまつり広場) 家族会役員会・ゆず湯・クリスマス会
1月	新年祝賀会・七草粥
2月	節分・バレンタインデー グリーンガーデンコンサート(バンド ドロップス. 和太鼓 光参加)
3月	雛まつり・ホワイトデー・家族会役員会・スポレク大会
毎月	懇談会・喫茶・駄菓子販売・パン販売・散髪・ピアノライブ・掛川市役所創作販 売『よってっ亭』、法人販売(納品)

### (2) たんぽぽ独自の活動

4月	たんぽぽ開設記念日11周年・いちごジャムづくり
5月	菖蒲湯・いちごジャムづくり
6月	梅ジュースづくり
7月	歯科検診
11月	たんぽぽミーティング
12月	希望外出(外食・買い物) 資生堂アートハウス. 和食処のら. アピタ たんぽぽ忘年会(カラオケ・外部お弁当購入)
1月	初詣(大頭龍) 丸亀製麺で昼食
2月	餅つき
毎月	懇談会・防災訓練・(避難訓練・インターホン訓練等)

(3) 選択食・行事食の提供

	選択食内容	その他 行事食
4月	おにぎり選択食 (15日)	
5月	シューマイ カレイの唐揚げポン酢おろし (27日)	こどもの日 寿司・柏餅 (5日) お茶づくしメニュー (8日) シダックスお楽しみ献立 (18日)
6月	イカのチリソースチリソース カニクリームコロッケ (29日)	運動会弁当 (6日)
7月	あじフライ 鶏のフライ香味ソース (31日)	開設記念日 弁当・デザート (1日) 七夕 七夕そうめん (7日)
8月	あなごひつまぶし 豚キムチ丼 (31日)	納涼祭 (8日) ミニビアガーデン (17日)
9月	酢豚 たらのホイル焼き (26日)	秋祭り 寿司 (16日) シダックスお楽しみ献立 (24日)
10月	鮭のタルタル焼き 豚ぶらの甘酢あん (28日)	
11月	エビフライ 味噌カツ (30日)	昼食バイキング (2日)
12月	クリスマス選択食 <主食>エビピラフ 白米 パン <主菜>ローストチキン サーモンムニエル 煮込みハンバーグ (16日)	カレー作り (2日) 大晦日年越しそば (31日)
1月	あじの梅しそフライ 豚とほたてのシューマイ (29日)	正月メニュー (1日~3日) 七草粥 (7日)
2月	さけ親子丼 ハンバーグ丼 (29日)	節分 助六寿司 (2日) おでんを食べよう (26日)
3月	停電のため、外注弁当選択 (17日)	ひなまつり ちらし寿司 (3日) シダックスお楽しみ献立 (7日) 寿司バイキング (30日)

その他、誕生日・職員からのリクエスト食を随時、給食委託業者シダックスによる季節メニューも随時あり。

## 2.5 避難防災訓練の状況

	内 容
4月	担当職員による年間計画等打ち合わせ
5月	夜間火災想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検
6月	日中火災想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検
7月	夜間火災想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検
8月	救急救命講習（消防署員による心肺蘇生、AED取り扱い指導）・防災点検
9月	総合訓練（地震予知非常呼び出し訓練・日中地震、火災想定避難誘導訓練、自主防災隊活動・炊き出し訓練）・防災設備取扱・防災点検
10月	夜間火災想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検

11月	福祉施設防災の日（日中地震想定避難誘導訓練・自主防災隊活動・防災設備取扱・防災点検）
12月	夜間想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検
1月	夜間想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検
2月	消防署通報訓練・防災点検
3月	職員への防災設備取扱いの説明・防災点検

## 2.6 各種委員会の状況

委 員 会 名		
衛生委員会		
リスクマネジメント	職員研修（全体）	あい通信（施設広報誌）
身体拘束解消	新人職員研修	施設整備・備品点検
虐待防止	チューター	防災
感染症対策	処遇向上（介護職員勉強会）	身だしなみ・清潔
衛生・清掃	懇談会	

## 2.7 家族会との連携の状況

内 容	
4月	家族会総会及び互助会全体会・第1回役員会
5月	施設整備事業（ぽかぽか農園草取り）・第2回役員会
6月	運動会
7月	納涼祭・第3回役員会
10月	収穫祭
10月	焼き芋大会
12月	第4回役員会
3月	第5回役員会（総会準備）

## 2.8 職員研修状況

主催・研修先	研修名
全国身体障害者施設協議会	研究大会・職員スキルアップ研修会・経営セミナー
東海北陸地区ブロック	研究大会・ケアガイドライン普及研修会
福祉サービス検討委員会	年3回定例（第3回目光陽荘にて開催）
全国盲重複障害者福祉施設研究協議会	研究大会・運営委員会及び施設長セミナー・職員研修会（強度行動障害支援と個別支援計画）
東遠地区施設連絡会	施設見学・職員研修（3回）・保健福祉研修会・相談支援の質の向上にむけた職員研修会
静岡県社会福祉協議会	新任職員研修（Ⅰ）・「事例から学ぶ原因分析と再発防止策」・感染症講座（初級編）・感染症講座（中級編）・精神疾患の理解・リーダーの役割と人材育成の心得・福祉職場の組織性向上講座・急変を見逃さないための救急講座・快適

	なシーティング入門セミナー・リスクマネジメント講座
静岡県	静岡県地域療育講演会・サービス管理責任者等研修・相談支援従事者初任者研修・障害者福祉サービス事業者説明会
静岡県給食協会	栄養士研修会・事例研修会
菊川市消防署	普通救命講習会・心肺蘇生法講習（救急隊来荘）・甲種防火管理者（新規）資格取得講習会
菊川市社会福祉協議会	福祉施設等ボランティア担当者会
その他	ミュージックケア初級研修・口腔ケア講習会（小笠掛川歯科医師会）・地域医療シンポジウム（菊川市地域医療を守る会）・市総合計画委員会・病院施設連絡会
法人内研修	職場のコミュニケーションとリーダーシップについて・排泄介護の基礎知識と技術
経理・事務関係	社会福祉施設経営者協議会総会・研修会・社会福祉法人決算実務講座・社会福祉法人監事監査研修・社会福祉施設人事・労務管理研修会・経理基礎講座・経営協会総会・大学生就職フェア・予算管理講座・社会福祉法人の公益的な取り組み推進セミナー・労働災害防止講習会
職員の資質向上、スキルアップ及び制度に対する理解、把握のために各種研修に積極的に参加、施設内研修の充実に努めた。	

## 29 職員被表彰者の状況

団体名	種類	人数
全国身体障害者施設協議会	永年勤続表彰 15年	0名
東海北陸身体障害者施設協議会	永年勤続表彰 15年	1名
静岡県社会福祉協議会会長表彰	社会福祉功労者県社協会会長表彰 15年	0名
全国盲重複障害者福祉施設協議会	永年勤続表彰 10年	2名
菊川市社会福祉協議会会長表彰	社会福祉功労者市社協会会長表彰 10年	0名

## 30 協力医療機関・通院機関の状況

区分	医師名（所属）・病院名
嘱託医（内科）	笹山可則医師（掛川東病院）
嘱託医（精神科）	野島秀哲医師（岡本クリニック）
協力医療機関	菊川市立総合病院・甲賀歯科医院
産業医	笹山可則医師（掛川東病院）
通院機関	菊川市立総合病院・中東遠総合医療センター・菊川眼科・御前崎病院・あかつちクリニック・甲賀歯科・加藤歯科・杉原脳外科・くにお皮膚科・石崎耳鼻科・うちだクリニック・森クリニック・菊川整形外科等